

若い目

平成30年12月17日(月) 南日本新聞

将来の夢は美容師

種子島中1年

松元 翔

僕には将来の夢がある。それは、美容師だ。よく女子が夢に見る仕事だが、僕は男子で美容師という夢をもっている。

なぜかというと、僕のお母さんのお兄ちゃんが、大阪で美容師をしていて、種子島に帰ってきたときに、かみをきってもらい、美容師のたのしさを感じたからだ。

だからといって、簡単に美容師にはなれないだろう。ふつう、将来の夢がかなうくらいは高くはない。だけど僕は、ぜったいに美容師という夢をかなえる。そして種子島で働き、いつかは大阪のお母さんのお兄ちゃんといっしょに働きたい。

夢を持つことは、いいことだ。自分しか持つことのできない、最高の夢を実現するために、これから少しずつ歩んでいきたい。

(西之表市)